発表資料

令和８年10月22日
名古屋税関
清水税関支署

令和８年９月分　清水税関支署管内　貿易概況（速報）の要旨

1. 清水港

輸出総額は１，７８９億円（対前年同月比３．８%の増加、比率ベース：１２ヵ月連続の増加）、輸入総額は１，２２２億円（同５．６%の増加、４ヵ月連続の増加）であった。差引額は５６７億円（同０．１%の増加）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「加熱用・冷却用機器」、「原動機」などは減少したものの、「プラスチック」、「重電機器」、「写真用・映画用材料」などが増加した。
輸入は「魚介類及び同調製品」、「パルプ」などは減少したものの、「重電機器」、「有機化合物」、「がん具及び遊戯用具」などが増加した。

地域別では、輸出は「アジア」、「アメリカ」が増加、「ＥＵ」は減少した。輸入は「アジア」が増加、「ＥＵ」、「アメリカ」は減少した。

区　分	輸　出　額	伸　率	輸　入　額	伸　率	差引額（▲は輸入超過）	伸　率
清水港	1,789億円	＋3.8%	1,222億円	＋5.6%	567億円	＋0.1%
	12ヵ月連続の増加		4ヵ月連続の増加			

			概　況　品　名	金　　額	伸　率				概　況　品　名	金　　額	伸　率
輸出	増加品目	（１）	プラスチック	85億円	＋52.8%	輸入	増加品目	（１）	重電機器	64億円	＋68.6%
		（２）	重電機器	75億円	＋31.3%			（２）	有機化合物	51億円	＋52.9%
		（３）	写真用・映画用材料	55億円	＋29.9%			（３）	がん具及び遊戯用具	20億円	2.8倍
	減少品目	（１）	加熱用・冷却用機器	30億円	▲50.2%		減少品目	（１）	魚介類及び同調製品	175億円	▲10.5%
		（２）	原動機	186億円	▲13.0%			（２）	パルプ	38億円	▲20.0%
		（３）	自動車の部分品	144億円	▲12.1%			（３）	野菜	8億円	▲35.6%
	主要地域増減		アジア、アメリカが増加、EUは減少				主要地域増減		アジアが増加、EU、アメリカは減少		

（参考）ドルレートは、１５７．４３円（前年同月比６．７%、９．８２円の円安）であった。
注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。
注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

2. 田子の浦港

区　分	輸　出　額	伸　率	輸　入　額	伸　率	差引額（▲は輸入超過）	伸　率
田子の浦港	5億円	▲46.6%	21億円	＋9.9%	▲16億円	＋71.8%
	5ヵ月ぶりの減少		4ヵ月連続の増加			

			概　況　品　名	金　　額	伸　　率				概　況　品　名	金　　額	伸　　率
輸出	増加品目	（１）	有機化合物	12百万円	全増	輸入	増加品目	（１）	有機化合物	6億円	＋6.6%
		（２）	織物用糸及び繊維製品	15百万円	＋17.3%			（２）			
		（３）						（３）			
	減少品目	（１）	金属鉱及びくず	―	全減		減少品目	（１）	パルプ	48百万円	▲81.1%
		（２）	精油・香料及び化粧品類	20百万円	▲79.7%			（２）	とうもろこし	9億円	▲16.2%
		（３）	無機化合物	30百万円	▲49.8%			（３）	魚介類及び同調製品	33百万円	▲48.7%
	主要地域増減		アジアが減少、EU、アメリカは増加				主要地域増減		アジア、EUが増加、アメリカは減少		

3. 御前崎港

区　分	輸　出　額	伸　率	輸　入　額	伸　率	差引額（▲は輸入超過）	伸　率
御前崎港	437億円	＋8.9%	56億円	▲10.2%	381億円	＋12.4%
	13ヵ月連続の増加		4ヵ月ぶりの減少			

			概　況　品　名	金　　額	伸　　率				概　況　品　名	金　　額	伸　　率
輸出	増加品目	（１）	自動車	238億円	＋26.4%	輸入	増加品目	（１）	鉄鋼	10億円	3.3倍
		（２）	楽器	29億円	＋16.2%			（２）	調製石油添加剤	6億円	＋30.5%
		（３）	電気計測機器	9億円	＋34.0%			（３）	お茶	46百万円	8.8倍
	減少品目	（１）	二輪自動車類	7億円	▲49.8%		減少品目	（１）	自動車	25億円	▲36.5%
		（２）	無機化合物	8億円	▲42.8%			（２）	金属製品	3百万円	▲99.3%
		（３）	ポンプ及び遠心分離機	3億円	▲41.1%			（３）	有機化合物	2億円	▲53.0%
	主要地域増減		EU、アジア、アメリカが増加				主要地域増減		EU、アジアが減少		

4. 静岡空港

輸出入実績なし